

F

その他の取組等について、おうかがいします。

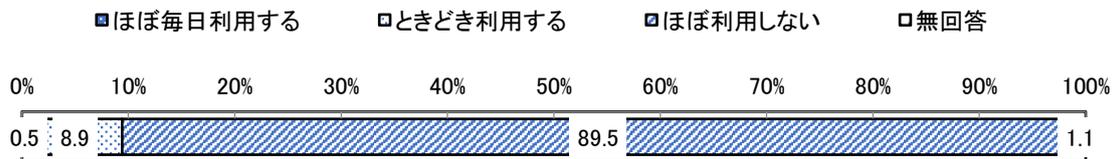
F-01

日常生活においてバス(※)を利用しますか。

- 1 ほぼ毎日利用する 2 ときどき利用する
3 ほぼ利用しない

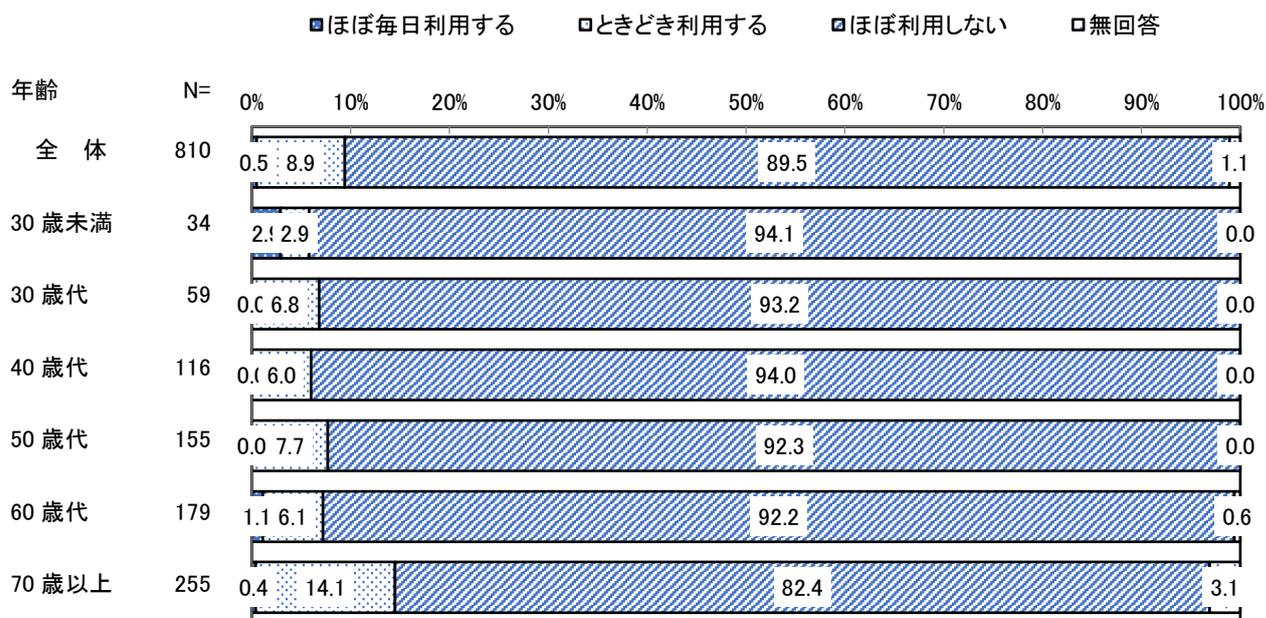
※市内を走る路線バス、予約型乗合タクシー

全 体	ほぼ毎日利用する	ときどき利用する	ほぼ利用しない	無回答
810	4	72	725	9
100.0	0.5	8.9	89.5	1.1



【クロス集計 F-01×年齢】

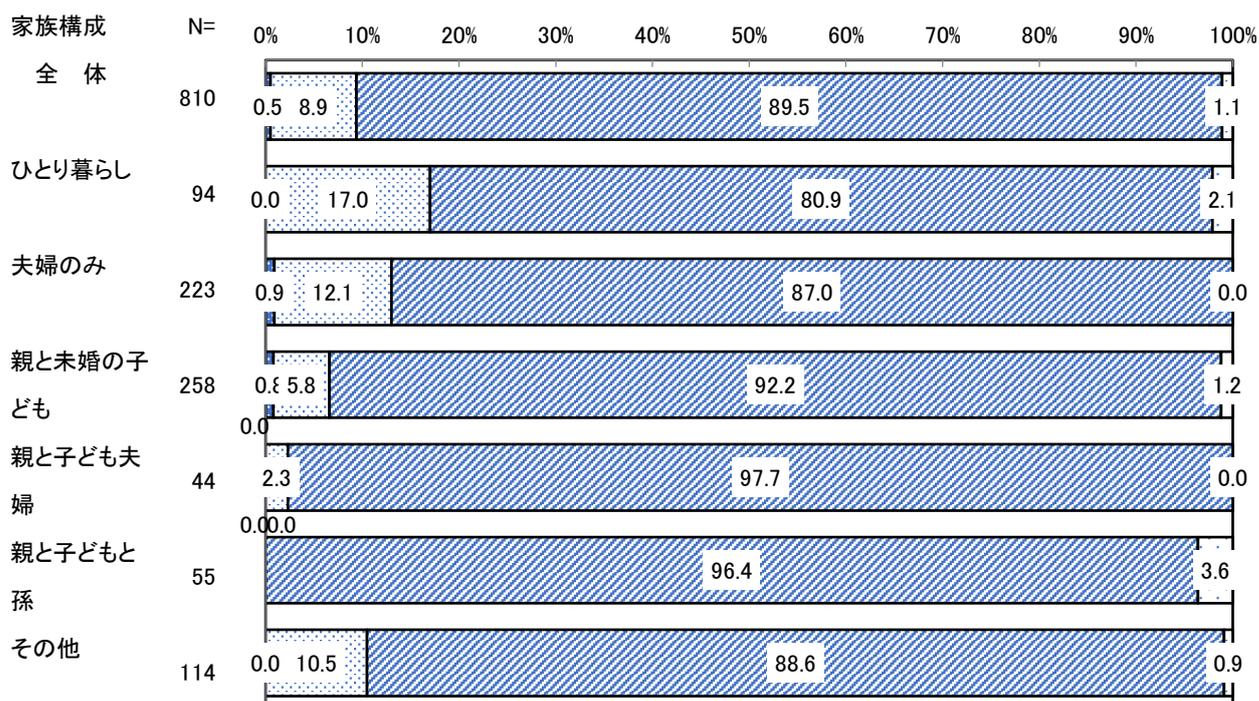
		全 体	ほぼ毎日 利用する	ときどき利 用する	ほぼ利用し ない	無回答
全 体		810 100.0	4 0.5	72 8.9	725 89.5	9 1.1
年 齢	30 歳未満	34 100.0	1 2.9	1 2.9	32 94.1	0 0.0
	30 歳代	59 100.0	0 0.0	4 6.8	55 93.2	0 0.0
	40 歳代	116 100.0	0 0.0	7 6.0	109 94.0	0 0.0
	50 歳代	155 100.0	0 0.0	12 7.7	143 92.3	0 0.0
	60 歳代	179 100.0	2 1.1	11 6.1	165 92.2	1 0.6
	70 歳以上	255 100.0	1 0.4	36 14.1	210 82.4	8 3.1



【クロス集計 F-01×家族構成】

		全 体	ほぼ毎日 利用する	ときどき利 用する	ほぼ利用し ない	無回答
全 体		810 100.0	4 0.5	72 8.9	725 89.5	9 1.1
家 族 構 成	ひとり暮らし	94 100.0	0 0.0	16 17.0	76 80.9	2 2.1
	夫婦のみ	223 100.0	2 0.9	27 12.1	194 87.0	0 0.0
	親と未婚の子ども	258 100.0	2 0.8	15 5.8	238 92.2	3 1.2
	親と子ども夫婦	44 100.0	0 0.0	1 2.3	43 97.7	0 0.0
	親と子どもと孫	55 100.0	0 0.0	0 0.0	53 96.4	2 3.6
	その他	114 100.0	0 0.0	12 10.5	101 88.6	1 0.9

■ほぼ毎日利用する □ときどき利用する □ほぼ利用しない □無回答



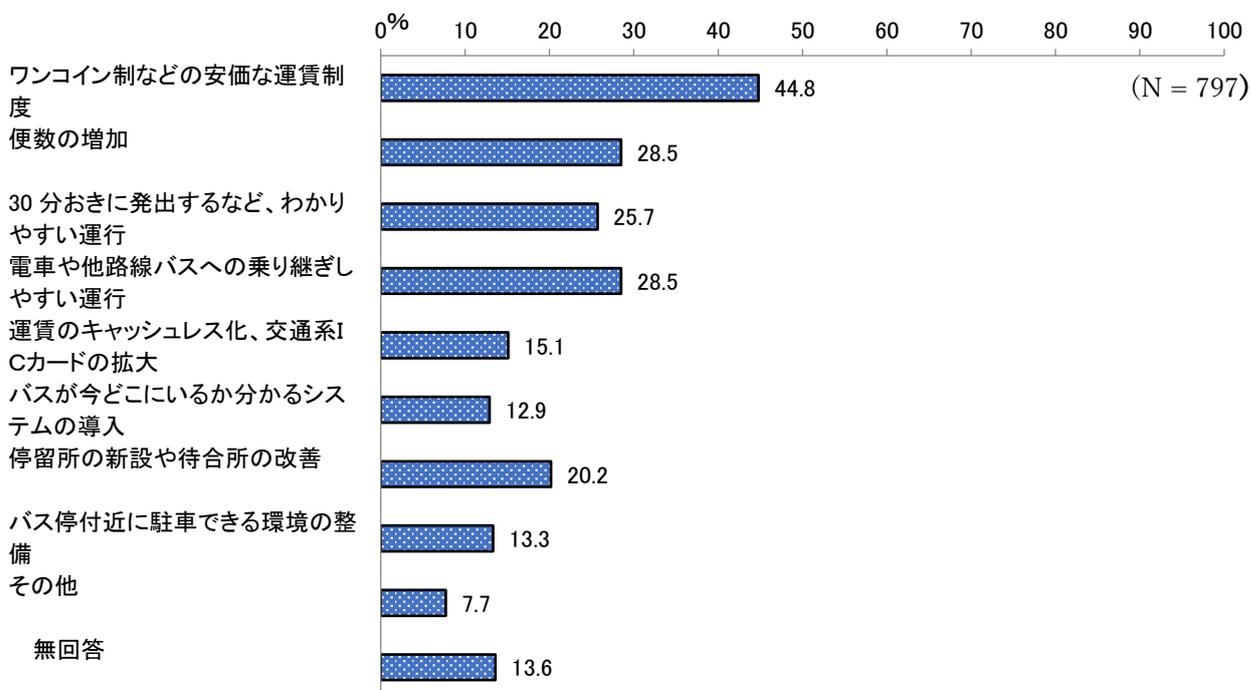
F-01で『2 ときどき利用する』または『3 ほぼ利用しない』と答えた方にかがいます。

F-02

バスの利用者を増やすためには、どのような取組が効果的だと思いますか。
(〇は3つ)

- 1 ワンコイン制などの安価な運賃制度
- 2 便数の増加
- 3 30分おきに発出するなど、わかりやすい運行
- 4 電車や他路線バスへの乗り継ぎしやすい運行
- 5 運賃のキャッシュレス化、交通系ICカードの拡大
- 6 バスが今どこにいるか分かるシステムの導入
- 7 停留所の新設や待合所の改善
- 8 バス停付近に駐車できる環境の整備
- 9 その他 ()

全体	ワンコイン制などの安価な運賃制度	便数の増加	30分おきに発出するなど、わかりやすい運行	電車や他路線バスへの乗り継ぎしやすい運行	運賃のキャッシュレス化、交通系ICカードの拡大	バスが今どこにいるか分かるシステムの導入	停留所の新設や待合所の改善	バス停付近に駐車できる環境の整備	その他	無回答
797 100.0	357 44.8	227 28.5	205 25.7	227 28.5	120 15.1	103 12.9	161 20.2	106 13.3	61 7.7	108 13.6



(その他)

バス停以外での乗車、降車可能なバス
車の無い老人向けにバスは必要。大型でなくて小型のバス
で良い。

ルート変更

自分で運転するから

車を持っている人が多いので、65才～70才すぎた老人達
に免許返納してバスを利用する事をアピールしてほしい。

バスが来ていない。富士見ニュータウン

バス代が高いので願わくば三島市のように循環バス(ワンコ
イン制…)があると助かる。①と重複。

現在は車移動

路線の増加

高齢者のバスやタクシー券を引き下げる(75才ではなく、7
0才以上とか)

路線バスがない

4月1日～発行受ける＝バス、電車は利用する。タクシー券
は使用しない。

バス運行コースがわからない

・新ルート・電車でいう急行(利用者の多いところだけ止ま
る)をつくる

コミュニティーバス

バス停までキヨリがある。

5つの駅を活用した循環バスの運行

出掛けたいと思う場所作り

路線のわかりやすさ、複数社を1枚で表示等

乗り降りしやすいバス

僻地、山の上など高齢化が進み買い物など下に降りるのに
不便。車が運転できない人の為に必要と思う。自分の目で
みて手にとって買い物ができる喜びにもつながると思う。

あまり必要を感じない

バスの乗り入れなし

路線の地図はありますか？私だけがわかっていないのでし
たら失礼。

市内循環バスあると利用しやすくなるが、本数少なければ
意味ない。

バスの運行がない

田方医りょう、順天堂への乗り継がほしい。

日々の生活範囲に路線なし

必要あるのかな？時間が制約されるので…

経路の見直し

バスの運行がない

病院やスーパー 駅などを結ぶ路線バスがあると便利だと
思います

自身の環境の変化。バスのシステムを変えても利用は増え
ない。

(わからないを除く。)

子供人口を増やす。親の送り迎え禁止

市内循環とか運転免許証返納後に利用しやすい路線
を考えてもらいたい

立花まで来てほしい

買い物しやすいバス停等

車があるので利用しない

高台団地入口小型バス運行

バスではなくワンボックスが良い

電動化

バスの小型化

バスが通らない地区なので、小型タクシー位の車で連
絡し、目的にまで行ってもらえると助かります。

そもそも私の地区にはバスが走ってません

車で移動の為

チケット補助金

自家用車

まだ自分で運転するので免許を返してからバス利用し
たいと思います。

自家用車があると利用しないが、もしないと考えると必
要だと思うが運営にかかる費用を考えると難しいものを
感じる

どのルートを通っているかわからない。習い事で通う際
に使いたいと思っている。

身体の不自由な人が利用できるシステム

いろいろなルートにする。

電車の最終で帰った時バスがないので最終にあわせて
バスの運行してほしい

運行ルートの明確化、食事に行くときに利用できるとお
酒も飲める、湯～トピアかんなみ以上の温泉施設(温
泉といえば伊豆の国市でしょと言いたい)

バスの廃線等バス自体が必要か議論して欲しい

ステップが低いなどバリアフリーの整ったバス

バス路線では無いので利用出来ない

誰に使って欲しいかで内容が変わると思う

高齢ドライバーによる事故を防ぐために、ある一定以上
の年齢の高齢者はバス料金を無料にしても良いかと思
います。

市営の巡回バスの新設(民間バス会社では採算とれない
ので)

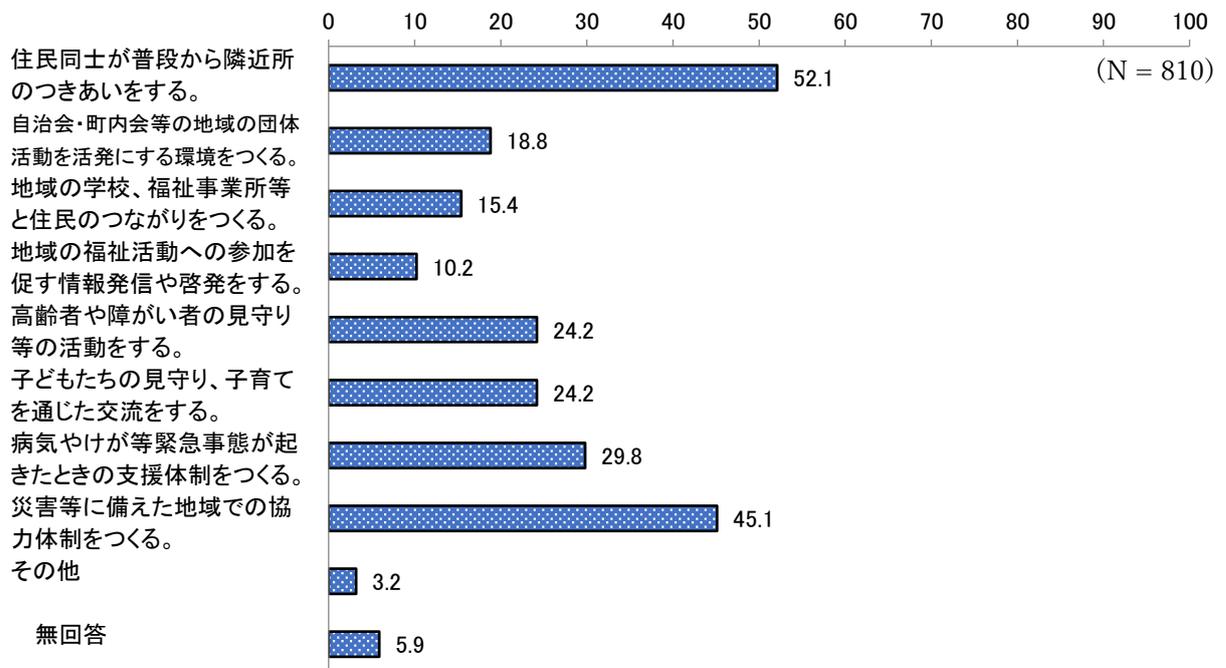
F-03

地域に住む人同士が助け合い、支えあえる地域をつくるには、地域としてどのようなことに取り組む必要があると思いますか。

(〇は3つまで)

- 1 住民同士が普段から隣近所のつきあいをする
- 2 自治会・町内会等の地域の団体活動を活発にする環境をつくる
- 3 地域の学校、福祉事業所等と住民のつながりをつくる
- 4 地域の福祉活動への参加を促す情報発信や啓発をする
- 5 高齢者や障がい者の見守り等の活動をする
- 6 子どもたちの見守り、子育てを通じた交流をする
- 7 病気やけが等緊急事態が起きたときの支援体制をつくる
- 8 災害等に備えた地域での協力体制をつくる
- 9 その他 ()

全 体	住民同士が普段から隣近所のつきあいをする。	自治会・町内会等の地域の団体活動を活発にする環境をつくる。	地域の学校、福祉事業所等と住民のつながりをつくる。	地域の福祉活動への参加を促す情報発信や啓発をする。	高齢者や障がい者の見守り等の活動をする。	子どもたちの見守り、子育てを通じた交流をする。	病気やけが等緊急事態が起きたときの支援体制をつくる。	災害等に備えた地域での協力体制をつくる。	その他	無回答
810 100.0	422 52.1	152 18.8	125 15.4	83 10.2	196 24.2	196 24.2	241 29.8	365 45.1	26 3.2	48 5.9



(その他)

がんで勝手な年よりに引いてもらう

市がもっと考えてほしい

組合の会合もない故(コロナ以前より)組内の顔も不明…

元気で積極的なお年寄りのボランティアをつくる準備をしておく

取組み不用の選択も可とする

助けや支えは市や国にしてほしい

避難所の収容可能人数と協力体制の再チェック

不要

俗にいう組内での活動になると思われますが、取組に関して組長・組員の参加負担大

高齢者に限らず、未婚の若年層がそもそも地域の活動(防災訓練すら)参加しないので、地域の人が誰がいるのかも把握できていない。

助け合いのいらぬシステム作り

自治会、町内会等に期待しないこと。

老後の生活の心配のない地域

青年団活動の様な若いころからの結果が必要

持ち家、借家、アパートという壁を無くして欲しい。

道路整備、歩道整備、安心して歩ける道づくり

強制参加させない

組を抜けてしまうの止める方法。80歳を過ぎたら組長をしなくてすむようにすること

生きる上で必要な部分での関りを

組の活動で過剰なものや余計なものはなくす。余計な集まりや活動が多く、煩わしさが勝ると逆に付き合いを減らすようになると思います。

積極的には関わりたくありません、調整区域のため新しく家など建つこともなく昔から住んでいる人が幅をきかせる住みにくい町です。

住民同士が助け合う必要がなく、個人でも安心して過ごせるようにすることが行政の仕事です。現に東京都等は近所付き合いなどなくても満足度の高い生活ができています。

日常の高齢者の見守りは専門のスタッフが対応し、災害時の対策は地域住民の組織で対応できるようにする

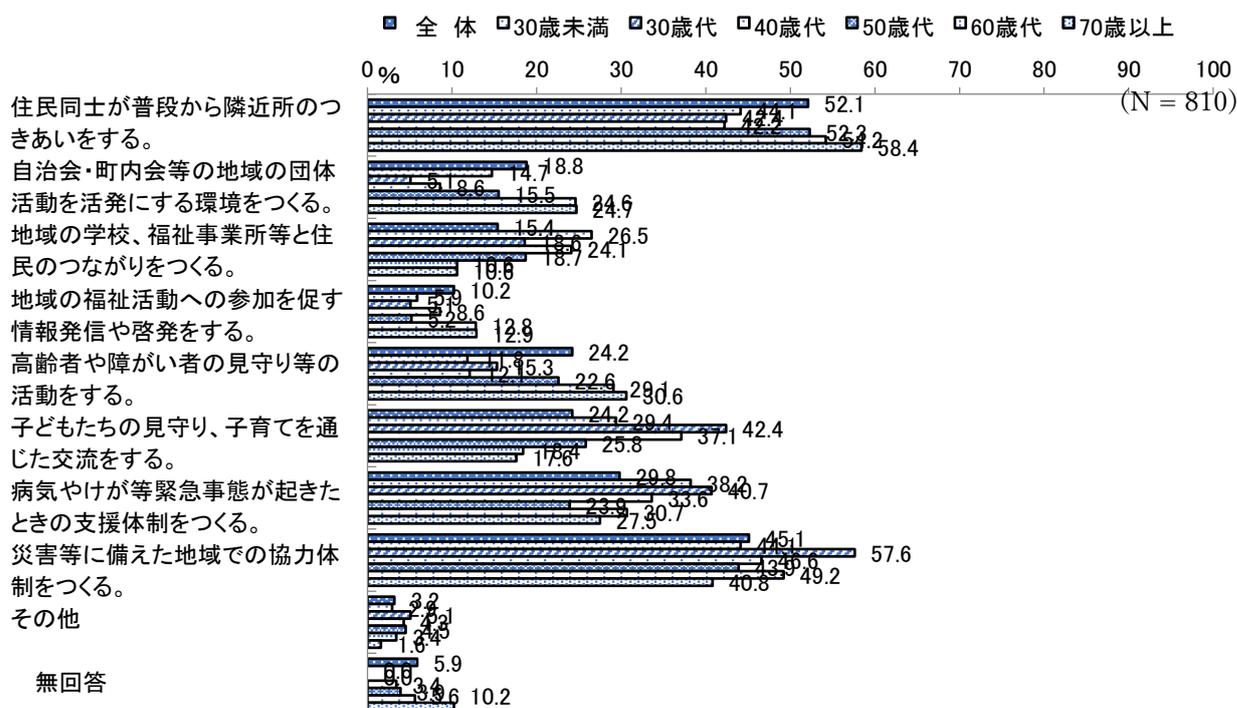
情報が普段から触れ合えるような環境が必要

お祭り等の楽しいイベントで出会った場合は、その後も良好な関係を続けられる場合が多いため、そのような機会を増やすことは良いかと思えます。

多くの財源

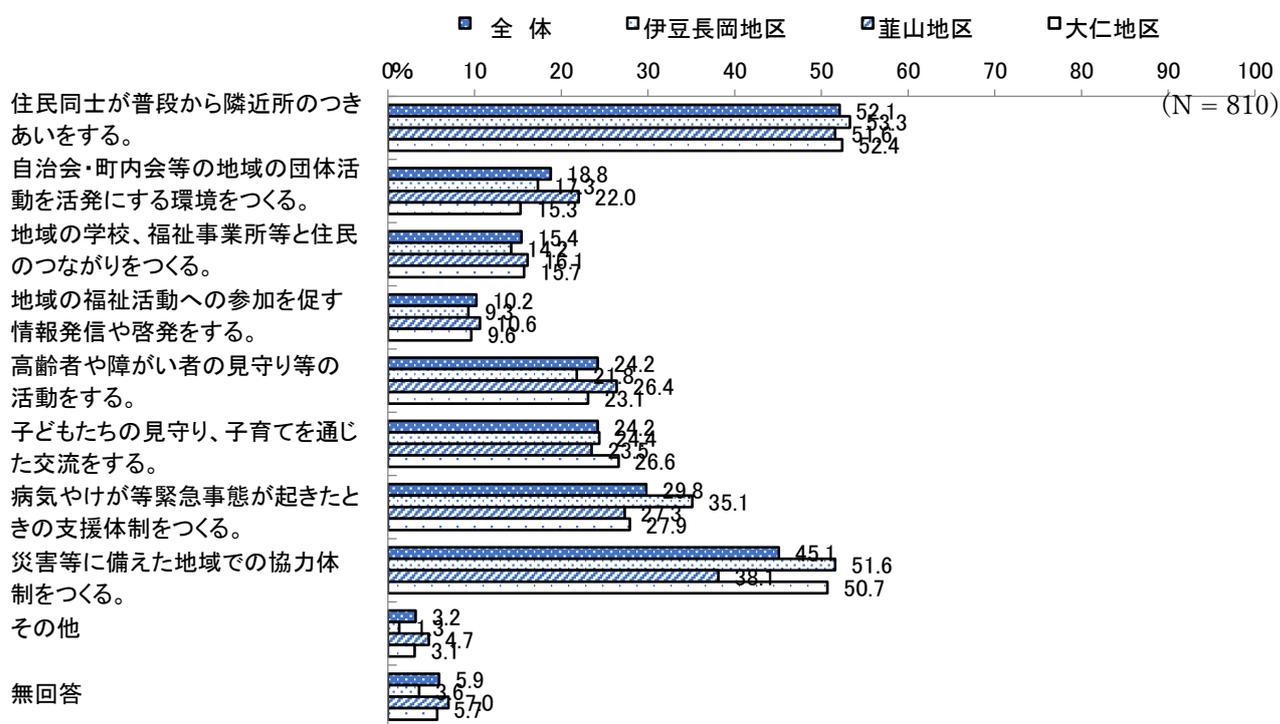
【クロス集計 F-03×年齢】

		全体	住民 同士 が普 段か ら隣 近所 のつ きあ いを する。	自治 会・町 内会 等の 地域 の団 体活 動を 活発 にし る環 境を つく る。	地域 の学 校、 福祉 事業 所等 と住 民の つな がり をつ くる。	地域 の福 祉活 動へ の参 加を 促す 情報 発信 や啓 発を する。	高齢 者や 障が い者 の見 守り 等の 活動 をす る。	子ど もた ちの 見守 り、 子育 てを 通じ た交 流を する。	病気 やけ が等 緊急 事態 が起 きた とき の支 援体 制を つく る。	災害 等に 備え た地 域で の協 力体 制を つく る。	その 他	無回 答
全	体	810 100.0	422 52.1	152 18.8	125 15.4	83 10.2	196 24.2	196 24.2	241 29.8	365 45.1	26 3.2	48 5.9
年 齢	30歳未満	34 100.0	15 44.1	5 14.7	9 26.5	2 5.9	4 11.8	10 29.4	13 38.2	15 44.1	1 2.9	0 0.0
	30歳代	59 100.0	25 42.4	3 5.1	11 18.6	3 5.1	9 15.3	25 42.4	24 40.7	34 57.6	3 5.1	0 0.0
	40歳代	116 100.0	49 42.2	10 8.6	28 24.1	10 8.6	14 12.1	43 37.1	39 33.6	54 46.6	5 4.3	4 3.4
	50歳代	155 100.0	81 52.3	24 15.5	29 18.7	8 5.2	35 22.6	40 25.8	37 23.9	68 43.9	7 4.5	6 3.9
	60歳代	179 100.0	97 54.2	44 24.6	19 10.6	23 12.8	52 29.1	33 18.4	55 30.7	88 49.2	6 3.4	10 5.6
	70歳以上	255 100.0	149 58.4	63 24.7	27 10.6	33 12.9	78 30.6	45 17.6	70 27.5	104 40.8	4 1.6	26 10.2



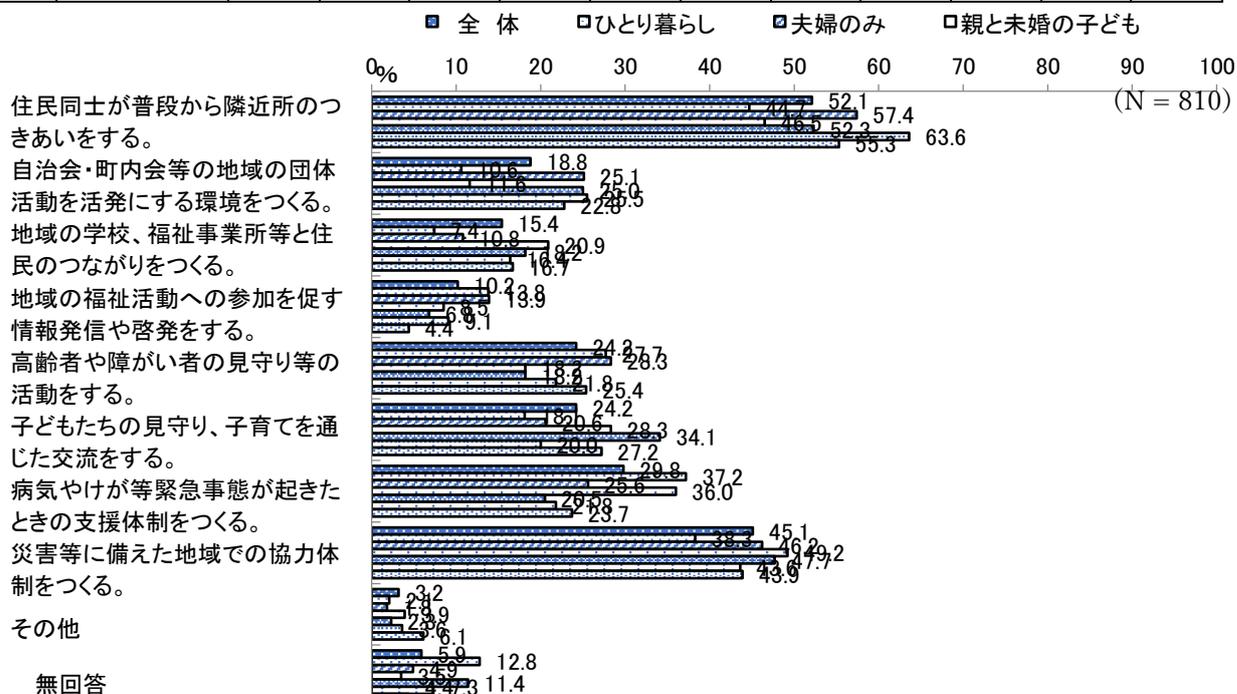
【クロス集計 F-03×居住地】

		全体	住民 同士が普 段から隣 近所のつ きあいを する。	自治 会・町内 会等の地 域の団体 活動を活 発にする 環境をつ くる。	地域 の学校、 福祉事 業所等と 住民のつ ながりを つくる。	地域 の福祉活 動への参 加を促す 情報発信 や啓発を する。	高齢 者や障が い者の見 守り等の 活動をし る。	子ど もたちの 見守り、 子育てを 通じた交 流をしる。	病気 やけが等 緊急事態 が起きた ときの支 援体制を つくる。	災害 等に備え た地域で の協力体 制をつる。	その 他	無回 答
全 体		810 100.0	422 52.1	152 18.8	125 15.4	83 10.2	196 24.2	196 24.2	241 29.8	365 45.1	26 3.2	48 5.9
お 住 まい の 地 区	伊豆長岡 地区	225 100.0	120 53.3	39 17.3	32 14.2	21 9.3	49 21.8	55 24.4	79 35.1	116 51.6	3 1.3	8 3.6
	韮山地区	341 100.0	176 51.6	75 22.0	55 16.1	36 10.6	90 26.4	80 23.5	93 27.3	130 38.1	16 4.7	24 7.0
	大仁地区	229 100.0	120 52.4	35 15.3	36 15.7	22 9.6	53 23.1	61 26.6	64 27.9	116 50.7	7 3.1	13 5.7



【クロス集計 F-03×家族構成】

	全体	住民 同士が普 段から隣 近所のつ きあいを する。	自治 会・町 内会等 の地域 の団体 活動を 活発に する環 境をつ くる。	地域 の学 校、福 祉事 業所等 と住 民のつ ながり をつ くる。	地域 の福 祉活 動への 参加を 促す情 報発信 や啓 発を する。	高 齢者 や障 がい 者の 見守 り等 の活 動を する。	子 ども たち の見 守り、 子育 てを 通じ た交 流を する。	病 気や けが 等緊 急事 態が 起き たと きの 支 援体 制を つ くる。	災 害等 に備 えた 地域 での 協 力体 制を つ くる。	そ の 他	無 回 答	
全 体	810 100.0	422 52.1	152 18.8	125 15.4	83 10.2	196 24.2	196 24.2	241 29.8	365 45.1	26 3.2	48 5.9	
家 族 構 成	ひとり暮らし	94 100.0	42 44.7	10 10.6	7 7.4	13 13.8	26 27.7	17 18.1	35 37.2	36 38.3	2 2.1	12 12.8
	夫婦のみ	223 100.0	128 57.4	56 25.1	24 10.8	31 13.9	63 28.3	46 20.6	57 25.6	103 46.2	4 1.8	11 4.9
	親と未婚の 子ども	258 100.0	120 46.5	30 11.6	54 20.9	22 8.5	47 18.2	73 28.3	93 36.0	127 49.2	10 3.9	9 3.5
	親と子ども 夫婦	44 100.0	23 52.3	11 25.0	8 18.2	3 6.8	8 18.2	15 34.1	9 20.5	21 47.7	1 2.3	5 11.4
	親と子どもと 孫	55 100.0	35 63.6	14 25.5	9 16.4	5 9.1	12 21.8	11 20.0	12 21.8	24 43.6	2 3.6	4 7.3
	その他	114 100.0	63 55.3	26 22.8	19 16.7	5 4.4	29 25.4	31 27.2	27 23.7	50 43.9	7 6.1	5 4.4



【クロス集計 F-03×年齢×家族構成】

		全体	住民 同士 が普 段か ら隣 近所 のつ きあ いを する。	自治 会・ 町内 会等 の地 域の 団体 活動 を活 発に する 環境 をつ くる。	地 域の 学 校、 福祉 事業 所等 と住 民の つな がり をつ くる。	地 域の 福 祉活 動へ の参 加を 促す 情報 発信 や啓 発を する。	高 齢 者や 障が い者 の見 守り 等の 活動 をす る。	子 ども た ちの 見守 り、 子 育 てを 通 じた 交流 をす る。	病 気 やけ が等 緊急 事態 が起 きた とき の支 援体 制を つく る。	災 害 等に 備え た地 域で の協 力体 制を つく る。	そ の 他	無 回 答
全 体		810 100.0	422 52.1	152 18.8	125 15.4	83 10.2	196 24.2	196 24.2	241 29.8	365 45.1	26 3.2	48 5.9
年 齢・ 家 族 構 成	30歳未満 一人暮らし	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代 一人暮らし	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代 一人暮らし	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0
	50歳代 一人暮らし	14 100.0	5 35.7	0 0.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	3 21.4	3 21.4	7 50.0	0 0.0	3 21.4
	60歳代 一人暮らし	29 100.0	15 51.7	4 13.8	2 6.9	7 24.1	9 31.0	6 20.7	11 37.9	16 55.2	0 0.0	2 6.9
	70歳以上 一人暮らし	38 100.0	17 44.7	6 15.8	1 2.6	5 13.2	13 34.2	3 7.9	16 42.1	9 23.7	0 0.0	7 18.4
	30歳未満 夫婦のみ	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代 夫婦のみ	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代 夫婦のみ	8 100.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0
	50歳代 夫婦のみ	36 100.0	22 61.1	5 13.9	3 8.3	3 8.3	8 22.2	6 16.7	8 22.2	16 44.4	1 2.8	0 0.0
	60歳代 夫婦のみ	65 100.0	36 55.4	17 26.2	9 13.8	10 15.4	20 30.8	17 26.2	17 26.2	32 49.2	1 1.5	2 3.1
	70歳以上 夫婦のみ	111 100.0	65 58.6	33 29.7	10 9.0	18 16.2	32 28.8	19 17.1	29 26.1	49 44.1	2 1.8	9 8.1
	30歳未満 親と未婚の子ども	18 100.0	8 44.4	3 16.7	4 22.2	1 5.6	1 5.6	3 16.7	8 44.4	9 50.0	1 5.6	0 0.0
	30歳代 親と未婚の子ども	42 100.0	16 38.1	0 0.0	7 16.7	1 2.4	5 11.9	19 45.2	19 45.2	25 59.5	2 4.8	0 0.0
	40歳代 親と未婚の子ども	69 100.0	30 43.5	5 7.2	18 26.1	9 13.0	8 11.6	27 39.1	27 39.1	32 46.4	1 1.4	2 2.9
	50歳代 親と未婚の子ども	65 100.0	30 46.2	10 15.4	17 26.2	5 7.7	17 26.2	18 27.7	15 23.1	27 41.5	3 4.6	2 3.1
60歳代 親と未婚の子ども	34 100.0	17 50.0	7 20.6	5 14.7	2 5.9	6 17.6	4 11.8	11 32.4	20 58.8	3 8.8	2 5.9	
		30	19	5	3	4	10	2	13	14	0	3

70歳以上 親 と未婚の子ども	100.0	63.3	16.7	10.0	13.3	33.3	6.7	43.3	46.7	0.0	10.0
30歳未満 親 と子ども夫婦	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30歳代 親と 子ども夫婦	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40歳代 親と 子ども夫婦	8 100.0	4 50.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5
50歳代 親と 子ども夫婦	10 100.0	6 60.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0	4 40.0	1 10.0	6 60.0	1 10.0	0 0.0
60歳代 親と 子ども夫婦	13 100.0	5 38.5	3 23.1	1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	6 46.2	5 38.5	0 0.0	2 15.4
70歳以上 親 と子ども夫婦	12 100.0	8 66.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0	2 16.7	5 41.7	0 0.0	6 50.0	0 0.0	2 16.7
30歳未満 親 と子どもと孫	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0
30歳代 親と 子どもと孫	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
40歳代 親と 子どもと孫	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
50歳代 親と 子どもと孫	4 100.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
60歳代 親と 子どもと孫	9 100.0	6 66.7	5 55.6	0 0.0	1 11.1	3 33.3	1 11.1	0 0.0	4 44.4	0 0.0	0 0.0
70歳以上 親 と子どもと孫	31 100.0	21 67.7	6 19.4	6 19.4	2 6.5	9 29.0	7 22.6	7 22.6	13 41.9	1 3.2	3 9.7
30歳未満 そ の他	8 100.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
30歳代 そ の他	7 100.0	4 57.1	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	4 57.1	1 14.3	0 0.0
40歳代 そ の他	20 100.0	8 40.0	1 5.0	6 30.0	0 0.0	3 15.0	6 30.0	5 25.0	9 45.0	1 5.0	1 5.0
50歳代 そ の他	25 100.0	15 60.0	6 24.0	3 12.0	0 0.0	5 20.0	7 28.0	8 32.0	11 44.0	2 8.0	1 4.0
60歳代 そ の他	28 100.0	17 60.7	8 28.6	2 7.1	0 0.0	12 42.9	4 14.3	9 32.1	11 39.3	2 7.1	2 7.1
70歳以上 そ の他	26 100.0	15 57.7	7 26.9	5 19.2	4 15.4	8 30.8	7 26.9	2 7.7	12 46.2	1 3.8	1 3.8

(グラフ省略)

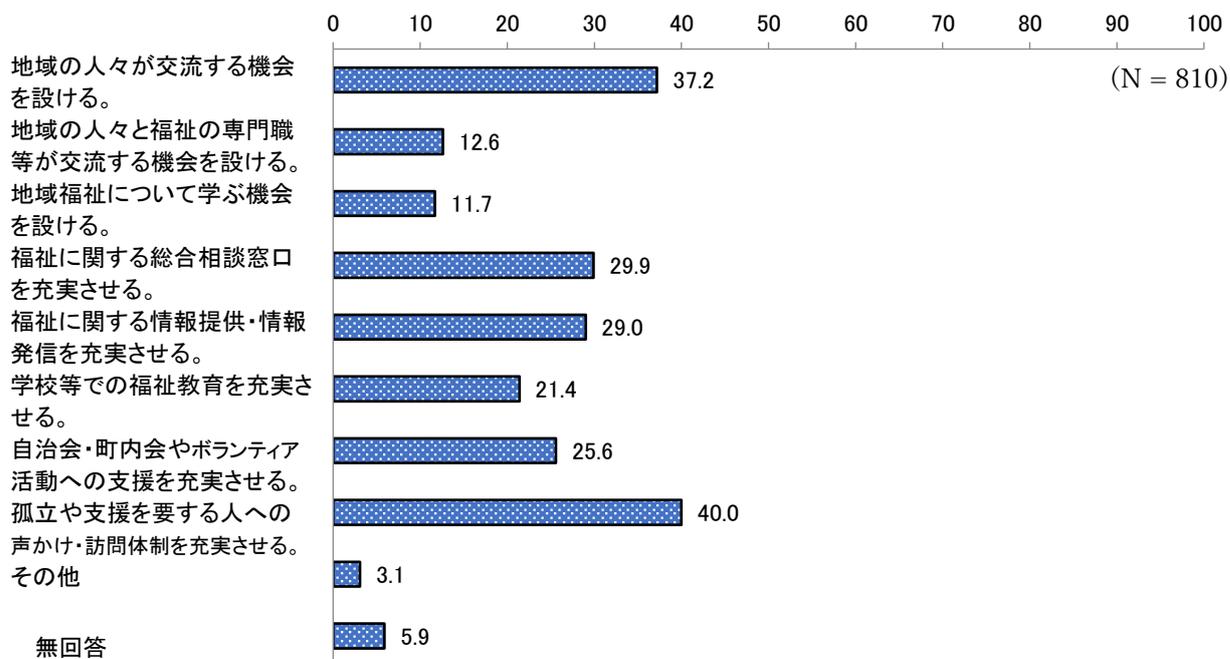
F-04

地域に住む人同士が助け合い、支えあえる地域をつくるには、市では、どのような支援を行う必要があると思いますか。

(〇は3つまで)

- 1 地域の人々が交流する機会を設ける
- 2 地域の人々と福祉の専門職等が交流する機会を設ける
- 3 地域福祉について学ぶ機会を設ける
- 4 福祉に関する総合相談窓口を充実させる
- 5 福祉に関する情報提供・情報発信を充実させる
- 6 学校等での福祉教育を充実させる
- 7 自治会・町内会やボランティア活動への支援を充実させる
- 8 孤立や支援を要する人への声かけ・訪問体制を充実させる
- 9 その他 ()

全体	地域の人々が交流する機会を設ける。	地域の人々と福祉の専門職等が交流する機会を設ける。	地域福祉について学ぶ機会を設ける。	福祉に関する総合相談窓口を充実させる。	福祉に関する情報提供・情報発信を充実させる。	学校等での福祉教育を充実させる。	自治会・町内会やボランティア活動への支援を充実させる。	孤立や支援を要する人への声かけ・訪問体制を充実させる。	その他	無回答
810	301	102	95	242	235	173	207	324	25	48
100.0	37.2	12.6	11.7	29.9	29.0	21.4	25.6	40.0	3.1	5.9



(その他)

(わからない・無しを除く。)

民生委員の在り方(専任も含めて)を市として検討、支援していく必要がある。

あらかじめ支援を必要とする人を把握する

市がもっと真剣に考えてほしい

地域での活動が必要で市は特に。

福祉事務所、福祉手帳等

地域の人々が交流できる場所、大型ショッピングセンターを誘致する

不要

防災訓練の見直し

NoF-03と同じ

自治会の規模に応じて、負担を減らすなど

助け合いのいらぬシステム作り

だれでも気軽に立ち寄れる場を作る

病院での手術の場合、保証人がいない人の支援

地域への人的支援

強制参加させない

アンケートをもとに、市側でしっかりと議論していただきたい。

ゴミの分別廃棄収集所の運営は各地区の自治会の運営に頼るべきではなく、市役所が公務として運営すべきだ

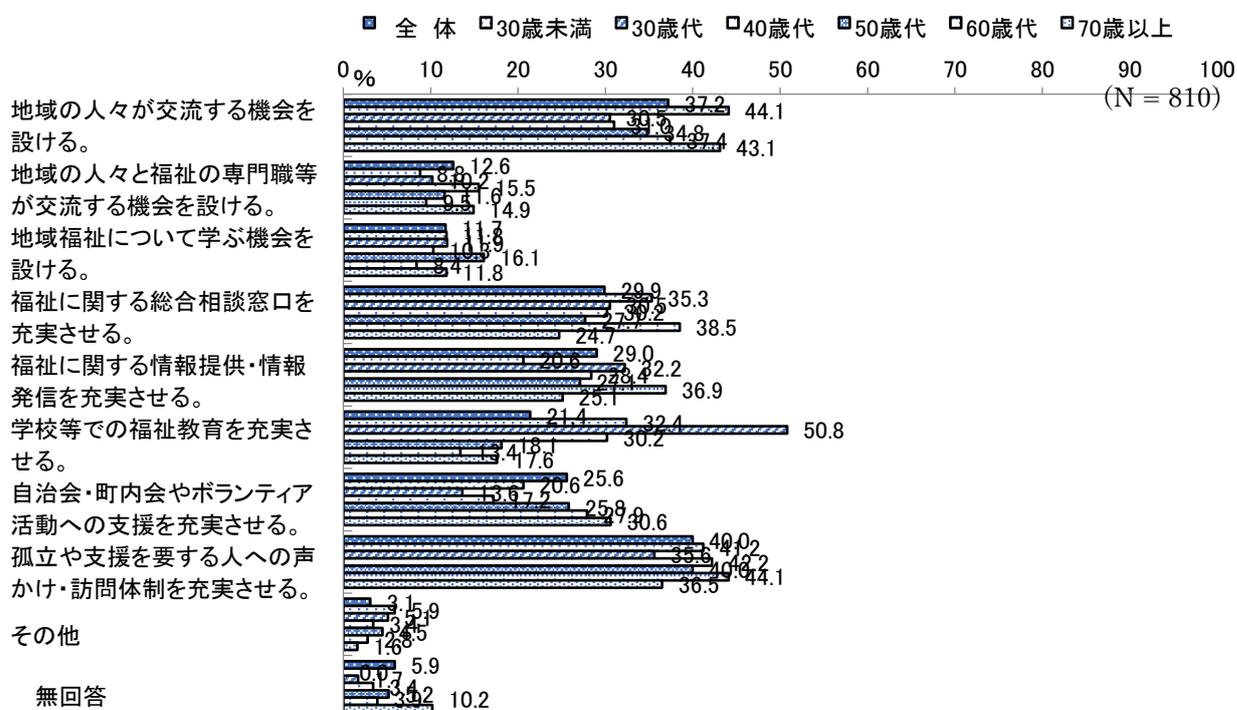
情報のコンテンツ提供

金額補助

ネットを使った具体的な相談窓口

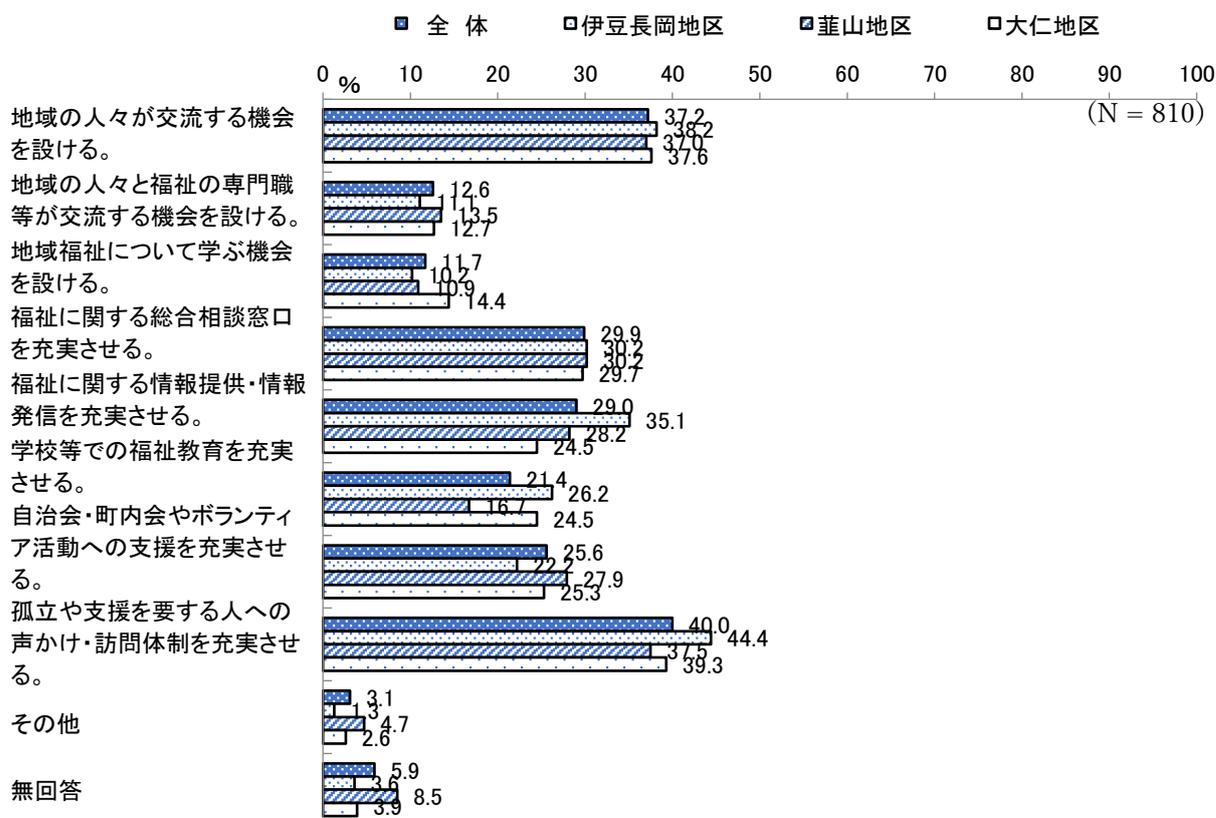
【クロス集計 F-04×年齢】

		全体	地域の 人々 が交 流す る機 会を 設け る。	地域の 人々と 福祉の 専門職 等が交 流する 機会を 設ける。	地域 福祉に ついて学 ぶ機 会を 設ける。	福祉 に関 する 総合 相談 窓口 を充 実さ せる。	福祉 に関 する 情報 提供・ 情報 発信 を充 実さ せる。	学校 等 での 福祉 教育 を充 実さ せる。	自治 会・町 内会 やボ ラン ティア 活動 への 支援 を充 実さ せる。	孤立 や支 援を 要す る人 への 声か け・訪 問体 制を 充 実さ せる。	その 他	無回 答
全体		810 100.0	301 37.2	102 12.6	95 11.7	242 29.9	235 29.0	173 21.4	207 25.6	324 40.0	25 3.1	48 5.9
年齢	30歳未満	34 100.0	15 44.1	3 8.8	4 11.8	12 35.3	7 20.6	11 32.4	7 20.6	14 41.2	2 5.9	0 0.0
	30歳代	59 100.0	18 30.5	6 10.2	7 11.9	18 30.5	19 32.2	30 50.8	8 13.6	21 35.6	3 5.1	1 1.7
	40歳代	116 100.0	36 31.0	18 15.5	12 10.3	35 30.2	33 28.4	35 30.2	20 17.2	49 42.2	4 3.4	4 3.4
	50歳代	155 100.0	54 34.8	18 11.6	25 16.1	43 27.7	42 27.1	28 18.1	40 25.8	62 40.0	7 4.5	8 5.2
	60歳代	179 100.0	67 37.4	17 9.5	15 8.4	69 38.5	66 36.9	24 13.4	50 27.9	79 44.1	5 2.8	7 3.9
	70歳以上	255 100.0	110 43.1	38 14.9	30 11.8	63 24.7	64 25.1	45 17.6	78 30.6	93 36.5	4 1.6	26 10.2



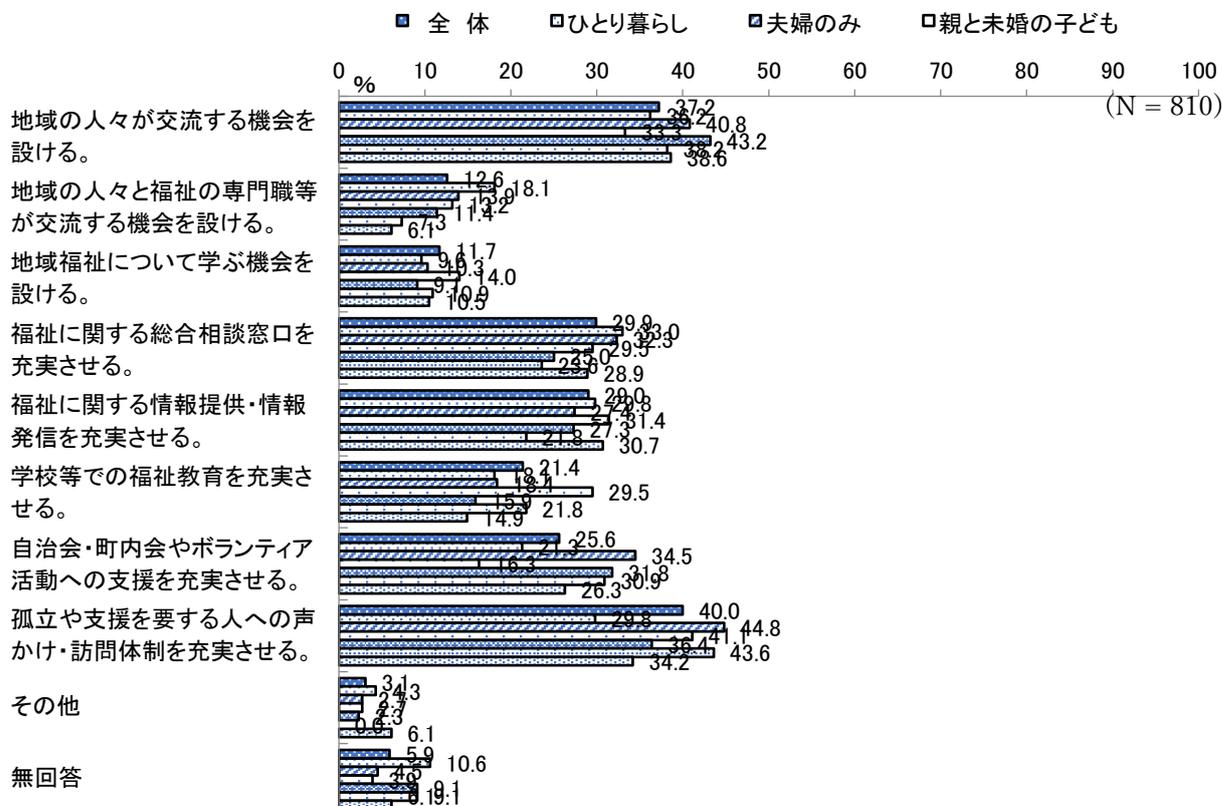
【クロス集計 F-04×居住地】

	全体	地域の 人々が交 流する機 会を設け る。	地域の 人々と福 祉の専門 職等が交 流する機 会を設け る。	地域 福祉に ついて学 ぶ機会 を設ける。	福祉 に関す る総合 相談窓 口を充 実させる。	福祉 に関す る情報 提供・ 情報 発信を 充実さ せる。	学校 等での 福祉教 育を充 実させ る。	自治 会・町 内会や ボラン ティア 活動へ の支援 を充実 させる。	孤立 や支援 を要す る人へ の声か け・訪 問体制 を充実 させる。	その 他	無回 答	
全体	810 100.0	301 37.2	102 12.6	95 11.7	242 29.9	235 29.0	173 21.4	207 25.6	324 40.0	25 3.1	48 5.9	
お住 まい の地 区	伊豆長岡 地区	225 100.0	86 38.2	25 11.1	23 10.2	68 30.2	79 35.1	59 26.2	50 22.2	100 44.4	3 1.3	8 3.6
	韮山地区	341 100.0	126 37.0	46 13.5	37 10.9	103 30.2	96 28.2	57 16.7	95 27.9	128 37.5	16 4.7	29 8.5
	大仁地区	229 100.0	86 37.6	29 12.7	33 14.4	68 29.7	56 24.5	56 24.5	58 25.3	90 39.3	6 2.6	9 3.9



【クロス集計 F-04×家族構成】

	全体	地域の 人々が交 流する機 会を設け る。	地域の 人々と福 祉の専門 職等が交 流する機 会を設け る。	地域 福祉に ついて学 ぶ機会を 設ける。	福祉 に関す る総合 相談窓 口を充 実させ る。	福祉 に関す る情報 提供・ 情報発 信を充 実させ る。	学校 等での 福祉教 育を充 実させ る。	自治 会・町 内会や ボラン ティア 活動へ の支援 を充実 させる。	孤立や 支援を 要する 人への 声かけ・ 訪問体 制を充 実させ る。	その他	無 回 答	
全体	810 100.0	301 37.2	102 12.6	95 11.7	242 29.9	235 29.0	173 21.4	207 25.6	324 40.0	25 3.1	48 5.9	
家族 構成	ひとり暮らし	94 100.0	34 36.2	17 18.1	9 9.6	31 33.0	28 29.8	17 18.1	20 21.3	28 29.8	4 4.3	10 10.6
	夫婦のみ	223 100.0	91 40.8	31 13.9	23 10.3	72 32.3	61 27.4	41 18.4	77 34.5	100 44.8	6 2.7	10 4.5
	親と未婚の 子ども	258 100.0	86 33.3	34 13.2	36 14.0	76 29.5	81 31.4	76 29.5	42 16.3	106 41.1	7 2.7	10 3.9
	親と子ども 夫婦	44 100.0	19 43.2	5 11.4	4 9.1	11 25.0	12 27.3	7 15.9	14 31.8	16 36.4	1 2.3	4 9.1
	親と子どもと 孫	55 100.0	21 38.2	4 7.3	6 10.9	13 23.6	12 21.8	12 21.8	17 30.9	24 43.6	0 0.0	5 9.1
	その他	114 100.0	44 38.6	7 6.1	12 10.5	33 28.9	35 30.7	17 14.9	30 26.3	39 34.2	7 6.1	7 6.1



【クロス集計 F-04×年齢×家族構成】

		全体	地域の 人々が交 流する機 会を設け る。	地域の 人々と福 祉の専門 職等が交 流する機 会を設け る。	地域 福祉に ついて学 ぶ機会を 設ける。	福祉に 関する 総合相談 窓口を充 実させる。	福祉に 関する 情報提供 ・情報発 信を充実 させる。	学校等 での福祉 教育を充 実させる。	自治会・ 町内会や ボランティア 活動への 支援を充 実させる。	孤立や 支援を要 する人へ の声かけ ・訪問体 制を充実 させる。	その他	無回 答
全 体		810 100.0	301 37.2	102 12.6	95 11.7	242 29.9	235 29.0	173 21.4	207 25.6	324 40.0	25 3.1	48 5.9
年齢・ 家族 構成	30歳未満 一人暮らし	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	30歳代 一人暮らし	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代 一人暮らし	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	4 66.7	3 50.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0
	50歳代 一人暮らし	14 100.0	6 42.9	1 7.1	3 21.4	4 28.6	3 21.4	3 21.4	2 14.3	4 28.6	0 0.0	2 14.3
	60歳代 一人暮らし	29 100.0	12 41.4	4 13.8	3 10.3	10 34.5	11 37.9	5 17.2	8 27.6	10 34.5	2 6.9	3 10.3
	70歳以上 一人暮らし	38 100.0	13 34.2	9 23.7	2 5.3	9 23.7	11 28.9	4 10.5	9 23.7	11 28.9	1 2.6	5 13.2
	30歳未満 夫婦のみ	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代 夫婦のみ	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代 夫婦のみ	8 100.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
	50歳代 夫婦のみ	36 100.0	13 36.1	4 11.1	4 11.1	9 25.0	8 22.2	3 8.3	13 36.1	18 50.0	2 5.6	1 2.8
	60歳代 夫婦のみ	65 100.0	23 35.4	7 10.8	6 9.2	26 40.0	24 36.9	12 18.5	20 30.8	33 50.8	2 3.1	2 3.1
	70歳以上 夫婦のみ	111 100.0	52 46.8	18 16.2	13 11.7	30 27.0	25 22.5	24 21.6	41 36.9	46 41.4	2 1.8	7 6.3
	30歳未満 親と未婚の子ども	18 100.0	7 38.9	2 11.1	2 11.1	7 38.9	5 27.8	6 33.3	3 16.7	6 33.3	1 5.6	0 0.0
	30歳代 親と未婚の子ども	42 100.0	15 35.7	2 4.8	5 11.9	9 21.4	12 28.6	20 47.6	6 14.3	16 38.1	2 4.8	1 2.4
	40歳代 親と未婚の子ども	69 100.0	23 33.3	12 17.4	8 11.6	19 27.5	20 29.0	27 39.1	9 13.0	32 46.4	2 2.9	1 1.4
50歳代 親と未婚の子ども	65 100.0	18 27.7	10 15.4	12 18.5	18 27.7	22 33.8	17 26.2	16 24.6	22 33.8	2 3.1	4 6.2	
60歳代 親と未婚の子ども	34 100.0	13 38.2	3 8.8	3 8.8	15 44.1	15 44.1	1 2.9	4 11.8	18 52.9	0 0.0	0 0.0	
		30	10	5	6	8	7	5	4	12	0	4

70歳以上 親と未婚の子ども	100.0	33.3	16.7	20.0	26.7	23.3	16.7	13.3	40.0	0.0	13.3
30歳未満 親と子ども夫婦	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30歳代 親と子ども夫婦	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40歳代 親と子ども夫婦	8 100.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	3 37.5	5 62.5	0 0.0	1 12.5
50歳代 親と子ども夫婦	10 100.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0
60歳代 親と子ども夫婦	13 100.0	4 30.8	0 0.0	1 7.7	4 30.8	4 30.8	2 15.4	3 23.1	5 38.5	0 0.0	1 7.7
70歳以上 親と子ども夫婦	12 100.0	6 50.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	5 41.7	2 16.7	6 50.0	1 8.3	0 0.0	2 16.7
30歳未満 親と子どもと孫	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
30歳代 親と子どもと孫	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
40歳代 親と子どもと孫	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0
50歳代 親と子どもと孫	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
60歳代 親と子どもと孫	9 100.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	3 33.3	6 66.7	3 33.3	0 0.0	0 0.0
70歳以上 親と子どもと孫	31 100.0	13 41.9	2 6.5	2 6.5	7 22.6	6 19.4	6 19.4	10 32.3	13 41.9	0 0.0	4 12.9
30歳未満 その他	8 100.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	4 50.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	0 0.0
30歳代 その他	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	3 42.9	2 28.6	4 57.1	2 28.6	3 42.9	1 14.3	0 0.0
40歳代 その他	20 100.0	5 25.0	1 5.0	3 15.0	5 25.0	7 35.0	2 10.0	5 25.0	5 25.0	1 5.0	2 10.0
50歳代 その他	25 100.0	9 36.0	1 4.0	3 12.0	6 24.0	6 24.0	4 16.0	6 24.0	10 40.0	2 8.0	1 4.0
60歳代 その他	28 100.0	12 42.9	3 10.7	1 3.6	13 46.4	10 35.7	1 3.6	8 28.6	10 35.7	1 3.6	1 3.6
70歳以上 その他	26 100.0	13 50.0	1 3.8	4 15.4	5 19.2	9 34.6	2 7.7	7 26.9	7 26.9	1 3.8	3 11.5

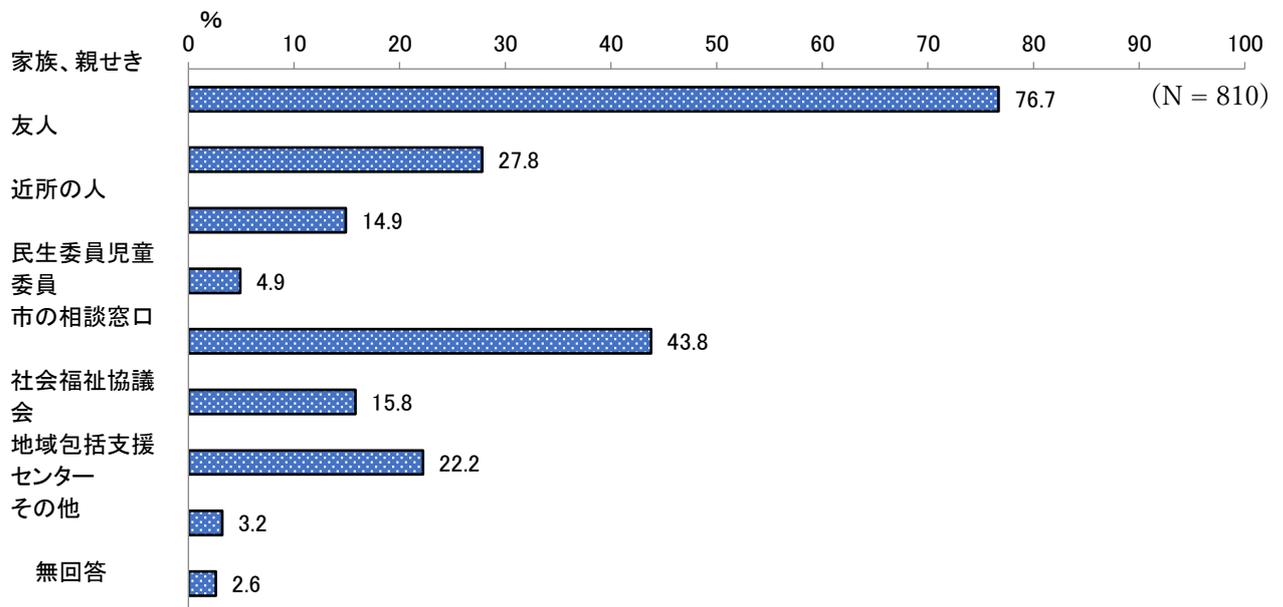
(グラフ省略)

F-05

日常生活の中で困ったり、福祉サービスが必要になったりしたとき誰（どこ）に相談しますか。（〇は3つまで）

- | | |
|--------------|------------|
| 1 家族、親せき | 2 友人 |
| 3 近所の人 | 4 民生委員児童委員 |
| 5 市の相談窓口 | 6 社会福祉協議会 |
| 7 地域包括支援センター | |
| 8 その他（ ） | |

全体	家族、親せき	友人	近所の人	民生委員児童委員	市の相談窓口	社会福祉協議会	地域包括支援センター	その他	無回答
810	621	225	121	40	355	128	180	26	21
100.0	76.7	27.8	14.9	4.9	43.8	15.8	22.2	3.2	2.6



(その他)

がいこくじん

どこにも相談できない

どこへ行けば相談できるかの情報発信

不明

長岡リハビリ病院のケアマネさん

ぬくもりの里

身体が不自由のため相談せず

現在はなし

職場の人

障害者や介護関係の人達

インターネットで調べる

ケアマネ

勤務先

民生委員の方の負担が大きいと感じています。プライバシーに関わりどこまで立ち入るのか？これは市の職員の守備だと考えます。

職場で色々な人に聞く

商工会高齢者生活支援事業

特になし

子育て支援課(ファミリーサポート)

ネット

インターネットで同じようなことがあった場合、どうしたか検索する。

ネットで検索

インターネット

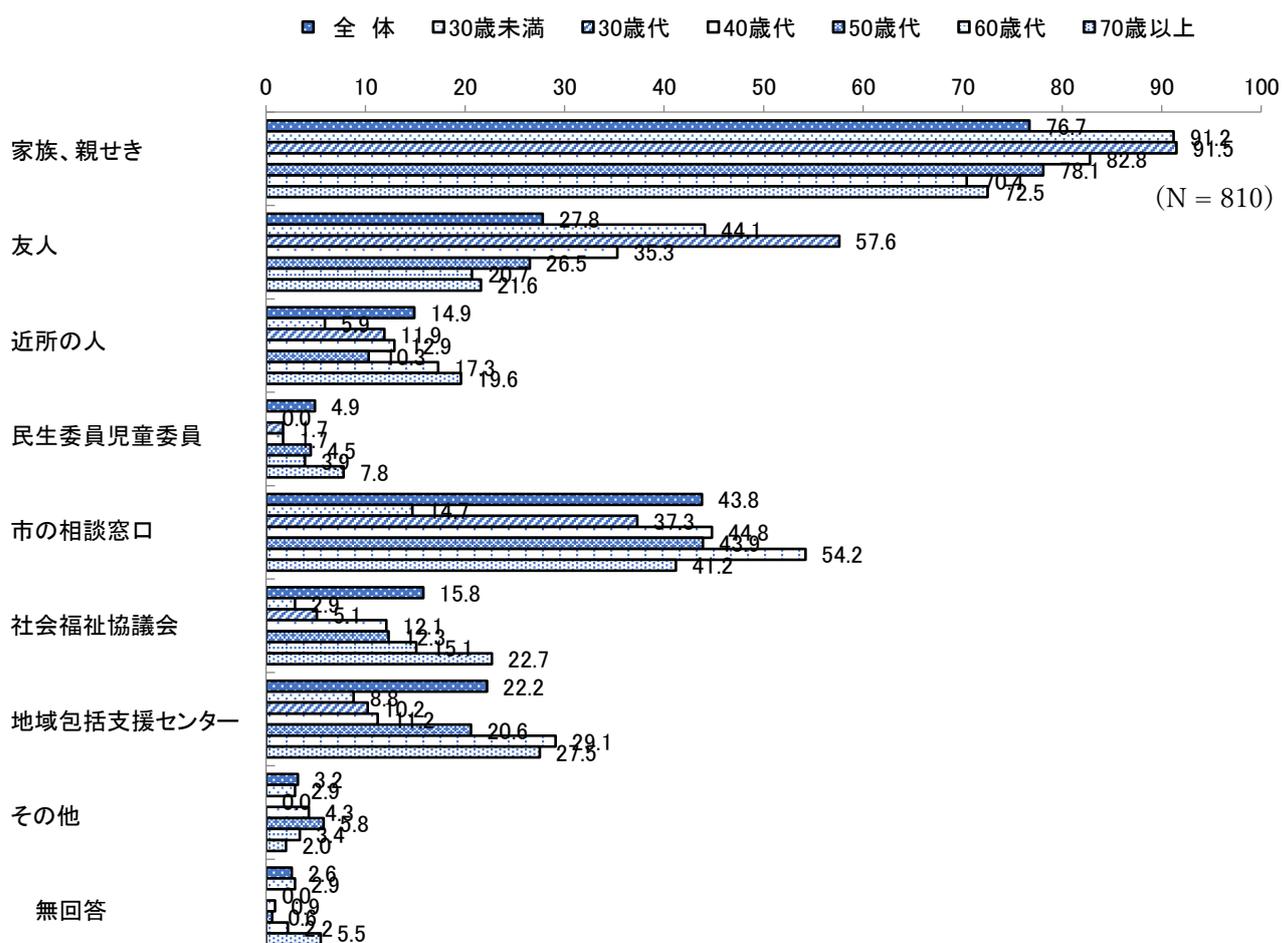
相談したことがない。

通院先の医師

ネットで検索

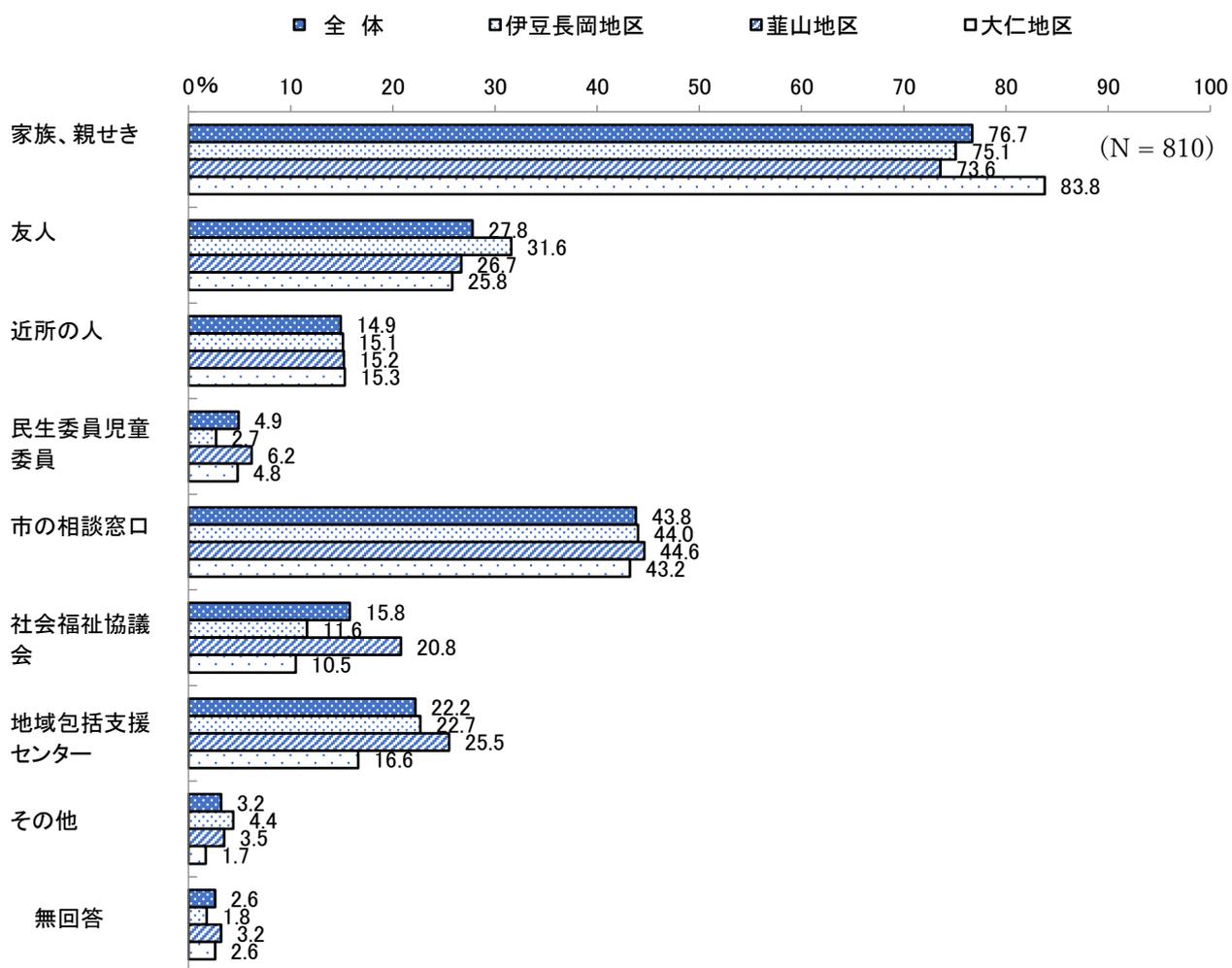
【クロス集計 F-05×年齢】

		全体	家族、親せき	友人	近所の人	民生委員児童委員	市の相談窓口	社会福祉協議会	地域包括支援センター	その他	無回答
全体		810 100.0	621 76.7	225 27.8	121 14.9	40 4.9	355 43.8	128 15.8	180 22.2	26 3.2	21 2.6
年齢	30歳未満	34 100.0	31 91.2	15 44.1	2 5.9	0 0.0	5 14.7	1 2.9	3 8.8	1 2.9	1 2.9
	30歳代	59 100.0	54 91.5	34 57.6	7 11.9	1 1.7	22 37.3	3 5.1	6 10.2	0 0.0	0 0.0
	40歳代	116 100.0	96 82.8	41 35.3	15 12.9	2 1.7	52 44.8	14 12.1	13 11.2	5 4.3	1 0.9
	50歳代	155 100.0	121 78.1	41 26.5	16 10.3	7 4.5	68 43.9	19 12.3	32 20.6	9 5.8	1 0.6
	60歳代	179 100.0	126 70.4	37 20.7	31 17.3	7 3.9	97 54.2	27 15.1	52 29.1	6 3.4	4 2.2
	70歳以上	255 100.0	185 72.5	55 21.6	50 19.6	20 7.8	105 41.2	58 22.7	70 27.5	5 2.0	14 5.5



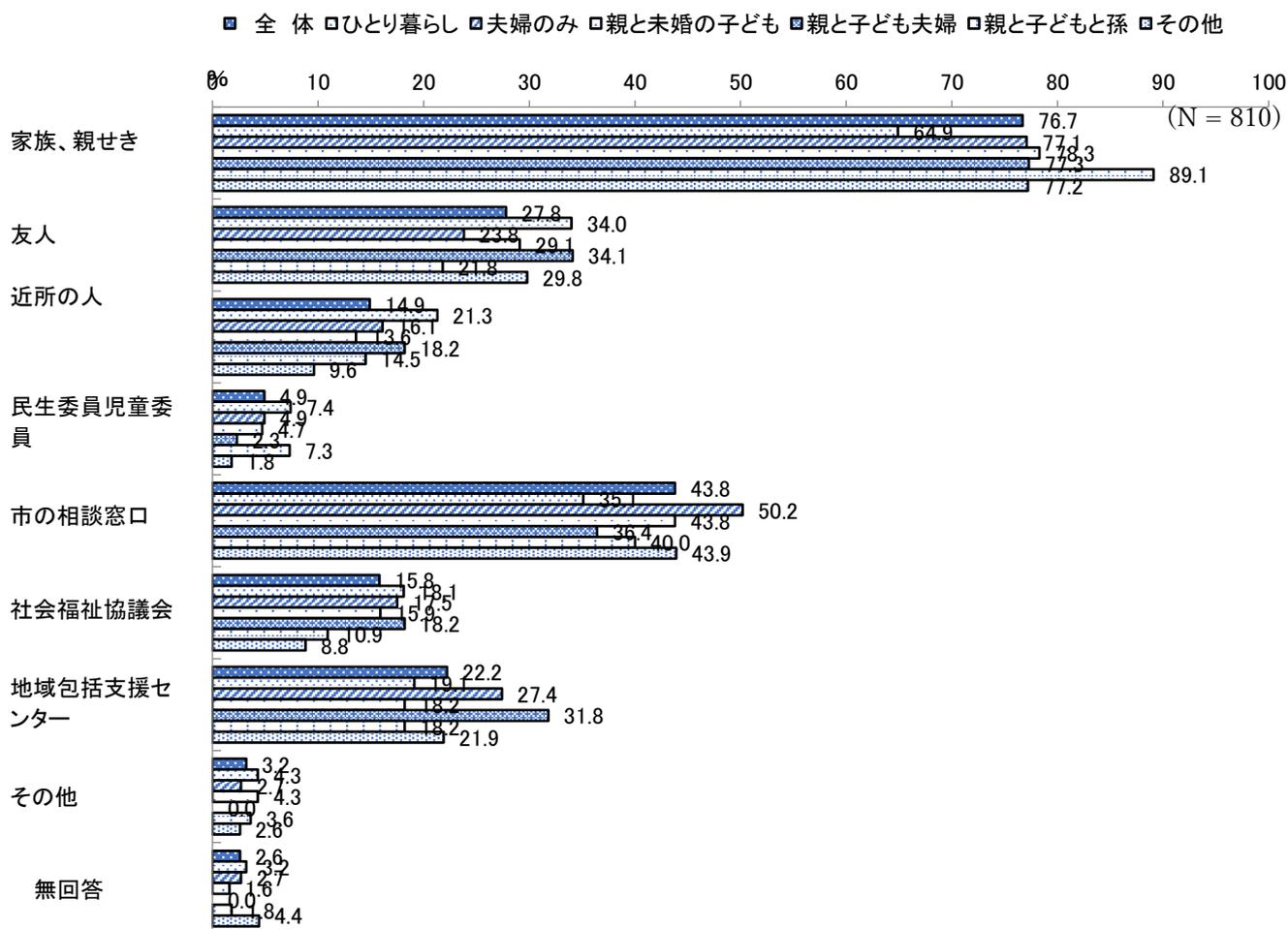
【クロス集計 F-05×居住地】

		全体	家族、親せき	友人	近所の人	民生委員児童委員	市の相談窓口	社会福祉協議会	地域包括支援センター	その他	無回答
全体		810	621	225	121	40	355	128	180	26	21
		100.0	76.7	27.8	14.9	4.9	43.8	15.8	22.2	3.2	2.6
お住まいの地区	伊豆長岡地区	225	169	71	34	6	99	26	51	10	4
		100.0	75.1	31.6	15.1	2.7	44.0	11.6	22.7	4.4	1.8
	韮山地区	341	251	91	52	21	152	71	87	12	11
	100.0	73.6	26.7	15.2	6.2	44.6	20.8	25.5	3.5	3.2	
	大仁地区	229	192	59	35	11	99	24	38	4	6
	100.0	83.8	25.8	15.3	4.8	43.2	10.5	16.6	1.7	2.6	



【クロス集計 F-05×家族構成】

		全体	家族、親せき	友人	近所の人	民生委員児童委員	市の相談窓口	社会福祉協議会	地域包括支援センター	その他	無回答
全体		810	621	225	121	40	355	128	180	26	21
		100.0	76.7	27.8	14.9	4.9	43.8	15.8	22.2	3.2	2.6
家族構成	ひとり暮らし	94	61	32	20	7	33	17	18	4	3
		100.0	64.9	34.0	21.3	7.4	35.1	18.1	19.1	4.3	3.2
	夫婦のみ	223	172	53	36	11	112	39	61	6	6
		100.0	77.1	23.8	16.1	4.9	50.2	17.5	27.4	2.7	2.7
	親と未婚の子ども	258	202	75	35	12	113	41	47	11	4
		100.0	78.3	29.1	13.6	4.7	43.8	15.9	18.2	4.3	1.6
親と子ども夫婦	44	34	15	8	1	16	8	14	0	0	
	100.0	77.3	34.1	18.2	2.3	36.4	18.2	31.8	0.0	0.0	
親と子どもと孫	55	49	12	8	4	22	6	10	2	1	
	100.0	89.1	21.8	14.5	7.3	40.0	10.9	18.2	3.6	1.8	
その他	114	88	34	11	2	50	10	25	3	5	
	100.0	77.2	29.8	9.6	1.8	43.9	8.8	21.9	2.6	4.4	



40歳代 親と子ども夫婦	8 100.0	6 75.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	4 50.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
50歳代 親と子ども夫婦	10 100.0	9 90.0	5 50.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0
60歳代 親と子ども夫婦	13 100.0	11 84.6	3 23.1	2 15.4	0 0.0	4 30.8	0 0.0	7 53.8	0 0.0	0 0.0
70歳以上 親と子ども夫婦	12 100.0	7 58.3	3 25.0	2 16.7	1 8.3	5 41.7	5 41.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0
30歳未満 親と子どもと孫	3 100.0	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30歳代 親と子どもと孫	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40歳代 親と子どもと孫	5 100.0	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
50歳代 親と子どもと孫	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
60歳代 親と子どもと孫	9 100.0	8 88.9	4 44.4	4 44.4	1 11.1	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
70歳以上 親と子どもと孫	31 100.0	27 87.1	5 16.1	3 9.7	2 6.5	14 45.2	6 19.4	7 22.6	1 3.2	1 3.2
30歳未満 その他	8 100.0	6 75.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5
30歳代 その他	7 100.0	7 100.0	5 71.4	0 0.0	0 0.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0
40歳代 その他	20 100.0	16 80.0	7 35.0	3 15.0	1 5.0	8 40.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0
50歳代 その他	25 100.0	22 88.0	7 28.0	0 0.0	0 0.0	9 36.0	2 8.0	6 24.0	0 0.0	0 0.0
60歳代 その他	28 100.0	20 71.4	8 28.6	4 14.3	0 0.0	16 57.1	3 10.7	8 28.6	0 0.0	1 3.6
70歳以上 その他	26 100.0	17 65.4	5 19.2	3 11.5	1 3.8	11 42.3	4 15.4	6 23.1	1 3.8	2 7.7

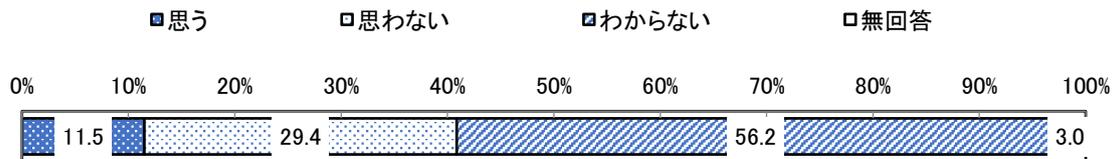
(グラフ省略)

F-06

伊豆の国市において、障がいの
ある人への偏見や差別、配慮の
なさがあると思いますか。

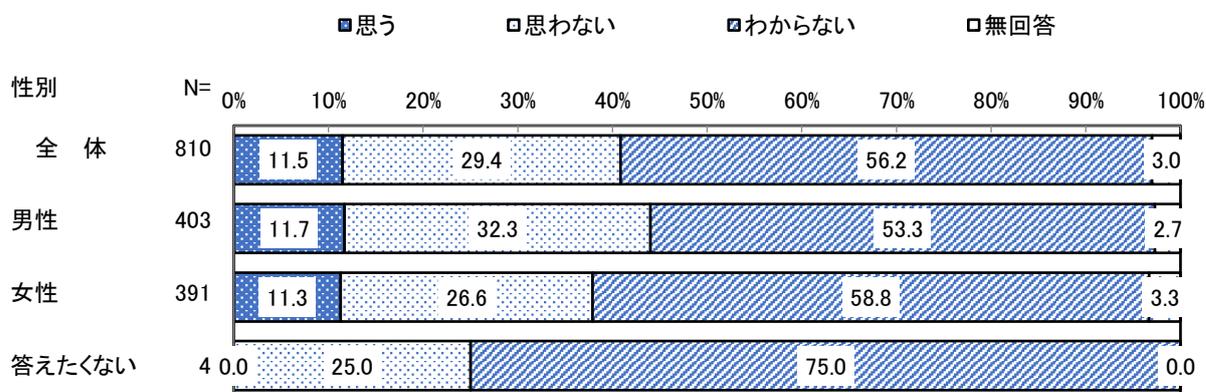
- 1 思う
- 2 思わない
- 3 わからない

全 体	思う	思わない	わからない	無回答
810	93	238	455	24
100.0	11.5	29.4	56.2	3.0



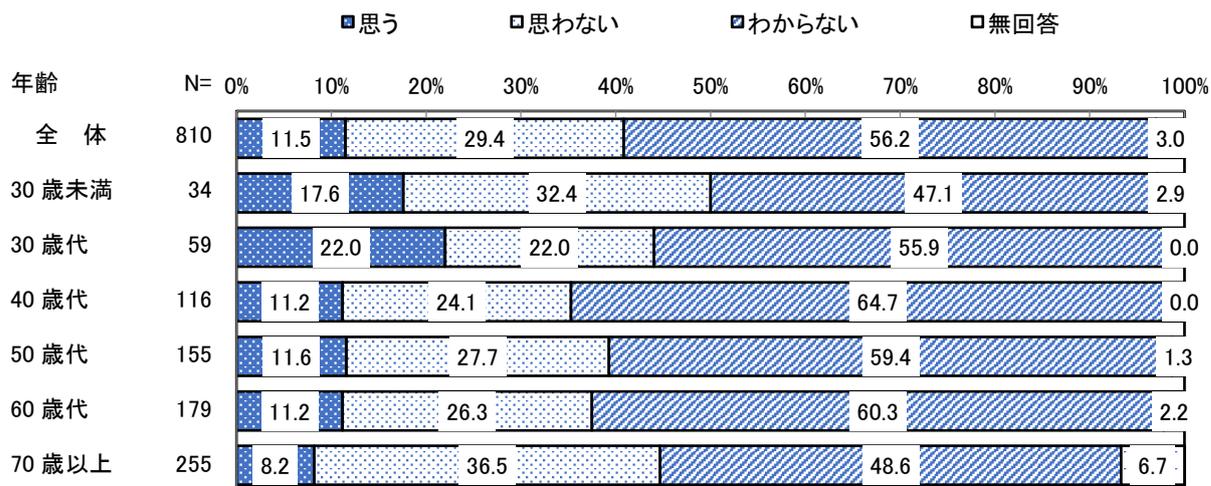
【クロス集計 F-06×性別】

		全 体	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		810 100.0	93 11.5	238 29.4	455 56.2	24 3.0
性別	男性	403 100.0	47 11.7	130 32.3	215 53.3	11 2.7
	女性	391 100.0	44 11.3	104 26.6	230 58.8	13 3.3
	答えたくない	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0



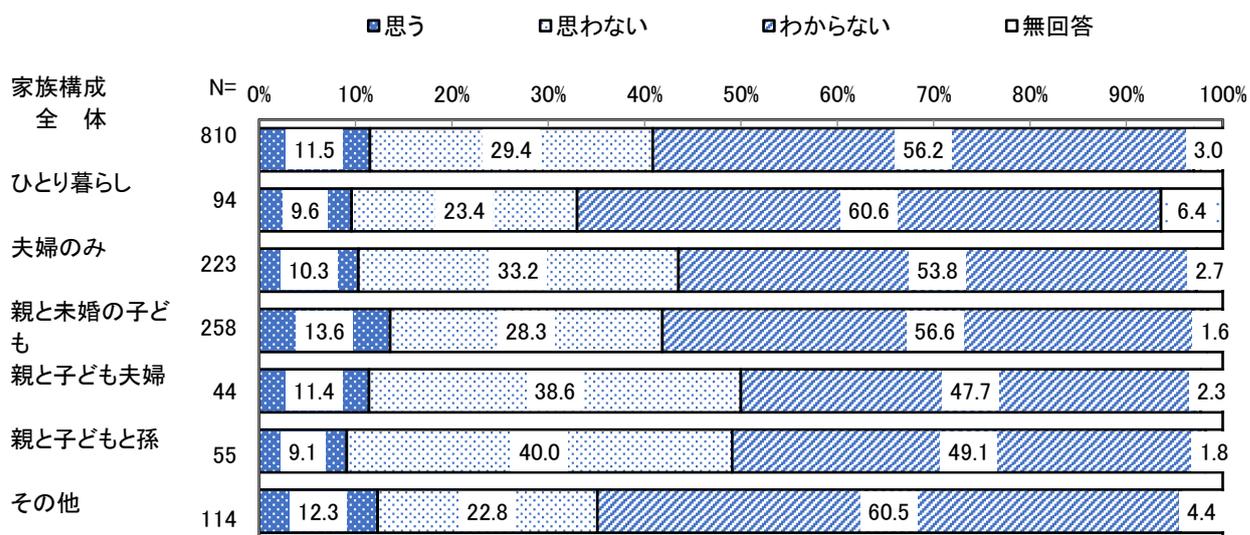
【クロス集計 F-06×年齢】

		全 体	思 う	思 わ ない	わ か ら ない	無 回 答
全 体		810 100.0	93 11.5	238 29.4	455 56.2	24 3.0
年 齢	30 歳 未 満	34 100.0	6 17.6	11 32.4	16 47.1	1 2.9
	30 歳 代	59 100.0	13 22.0	13 22.0	33 55.9	0 0.0
	40 歳 代	116 100.0	13 11.2	28 24.1	75 64.7	0 0.0
	50 歳 代	155 100.0	18 11.6	43 27.7	92 59.4	2 1.3
	60 歳 代	179 100.0	20 11.2	47 26.3	108 60.3	4 2.2
	70 歳 以 上	255 100.0	21 8.2	93 36.5	124 48.6	17 6.7



【クロス集計 F-06×家族構成】

		全 体	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		810	93	238	455	24
		100.0	11.5	29.4	56.2	3.0
家 族 構 成	ひとり暮らし	94	9	22	57	6
		100.0	9.6	23.4	60.6	6.4
	夫婦のみ	223	23	74	120	6
		100.0	10.3	33.2	53.8	2.7
	親と未婚の子ども	258	35	73	146	4
		100.0	13.6	28.3	56.6	1.6
親と子ども夫婦	44	5	17	21	1	
	100.0	11.4	38.6	47.7	2.3	
親と子どもと孫	55	5	22	27	1	
	100.0	9.1	40.0	49.1	1.8	
その他	114	14	26	69	5	
	100.0	12.3	22.8	60.5	4.4	



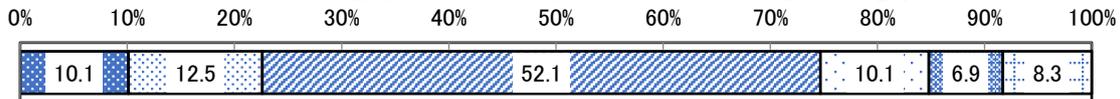
F-07

自殺を予防するために、どのような取組が一番効果があると思いますか。
(○は1つ)

- 1 自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。
- 2 悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。
- 3 悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。
- 4 一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。
- 5 その他 ()

全 体	自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。	悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。	悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。	一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。	その他	無回答
810 100.0	82 10.1	101 12.5	422 52.1	82 10.1	56 6.9	67 8.3

- 自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。
- 悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。
- 悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。
- 一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。



(その他)

(わからない・無しを除く。)

“いのちの電話”の窓口を作る。
 4のSOSを送る場所をつくる
 子どものころからの教育
 自殺を考えている人達の交流の場を設け、同じ境遇の人の考えを知れるようにする。
 動物とのふれあい
 かんたんに返事が出来る事ではないので回答出来ません
 おもいつかない
 市で考えて発信しろ
 前もっての予約制相談口とあるが考えもの。いつでも受け入れの窓口も必要。
 からだの調子と経済的な問題
 教育のレベルを上げる
 難しい
 気軽に相談できる方法を増やす。窓口、SNS、メール、TEL等
 一人一人が「ストレス学」を学び実践すること
 病院で治療を受けやすい環境づくり
 何時でも駆け込める場所を作る。
 孫が学校の先生に伝えても(中学)しらんかおしている。あれでは相談できない。
 自殺を思い止めるPR
 自分でどうにかできるような能力を身につける為に必要な取組をする。
 家族が少しでも気になるようなことがあったら注意して観察していく

自殺は予防出来ない！

社会活動の活性化、1人での時間の減少化

子供の時から命の大切さの教育をする

自殺できる程の勇気を持っていない

気軽に声をかけられるご近所をつくる

精神科医に関して適切な薬の処方、安易な処方

プライバシー保護が強くなりすぎて個人に接するのが難しい

学校で教える事、しつけは親の義務。学校に頼りすぎる親が多い…

難問！4が出来れば問題なし

勉強が足りず分からない。

悩んでる人の原因となる人物がいるならばその人のカウンセリングを行う。

強制参加させない

友人が自殺したが全く気付いてあげられなかった。

人と人とのつながりを大切にする。

ストレスが無い社会作り

何を充実させても、予防出来ないと思う

人が自殺をするに至るメンタル的な変化や状況の具体例を明示し、最悪の結果を回避するにはどうすればよかったのか示す。具体例がなく抽象的なものでは頭にも心にも入ってこない。

サインに気付ける人は他人ではなく家族なので、裾野を広げた方が良いと思う。オンラインセミナーなど、匿名性を高めてハードルを下げることも必要ではないか。

一部の議員が騒いでいるだけ。

この設問を住民に投げかけている時点で、本質が見えてないと思う。自殺をする人は一人一人抱えている悩みが違うわけで、個別に寄り添わなければいけない。住民にアンケートで聞くレベルの内容ではないと思うし、簡単には我々も答えられないと思う。

市民の生活レベルを向上させること

個々人の問題なので、他人は立ち入らないほうが良いと思う。

死ぬ人は死ぬ

多様性を尊重する啓発活動と教育。具体的には、社会的弱者やマイノリティーも社会は受け入れており、個人もそれを受け入れなければならないということを多くの人が理解する必要があります。一例を挙げれば、生活保護受給者を「社会のお荷物・金食い虫」だと思っていて、受給すべき人が受給していない現状がありますが、それは無くすべきです。社会のセーフティネットは強固で、すべての者に生きる権利があること、自殺したくなったら誰かに頼らなければならないということを市民の意識に植え付けることが大切だと思います。

気づける人の育成、相談者の育成、窓口の充実等々、専門家を育成という選択肢しかないが、もっともっとならなければならない事があると思う。それは、地域での助け合い組織の充実です。隣組組織、区の組織ですね。分かる専門家を育成も必要ですが、その前に地域組織、お隣さんとの交流だと思います。

経済的安定

自殺の危険性を示すサインを発する人に気付ける人の育成と一人一人が抱えるストレスや悩みに対して適切なSOSが出せる能力を身につけ、そのような環境を整え、いじめなどを犯す人の暮らす環境のケアや心のケアを行う事業を立ち上げる。

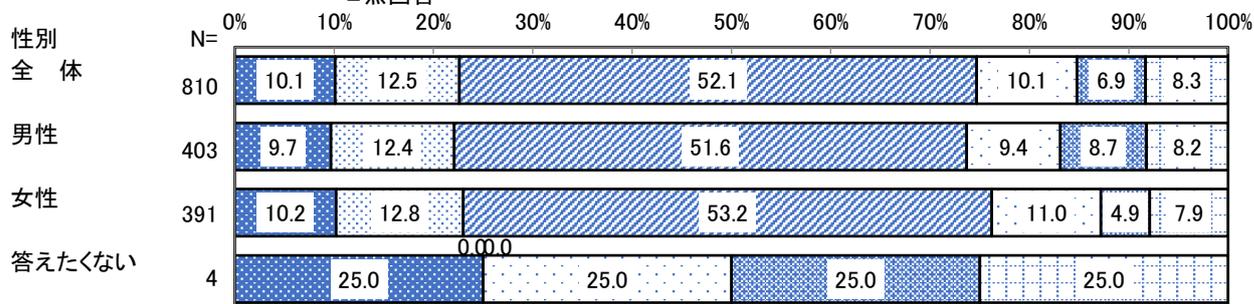
子供のころから、命の意味や尊さを学ぶ機会を与え、イジメを見逃さない雰囲気作りが必要。

自己肯定感を高める

【クロス集計 F-07×性別】

		全 体	自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。	悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。	悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。	一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。	その他	無回答
全 体		810 100.0	82 10.1	101 12.5	422 52.1	82 10.1	56 6.9	67 8.3
性別	男性	403 100.0	39 9.7	50 12.4	208 51.6	38 9.4	35 8.7	33 8.2
	女性	391 100.0	40 10.2	50 12.8	208 53.2	43 11.0	19 4.9	31 7.9
	答えたくない	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0

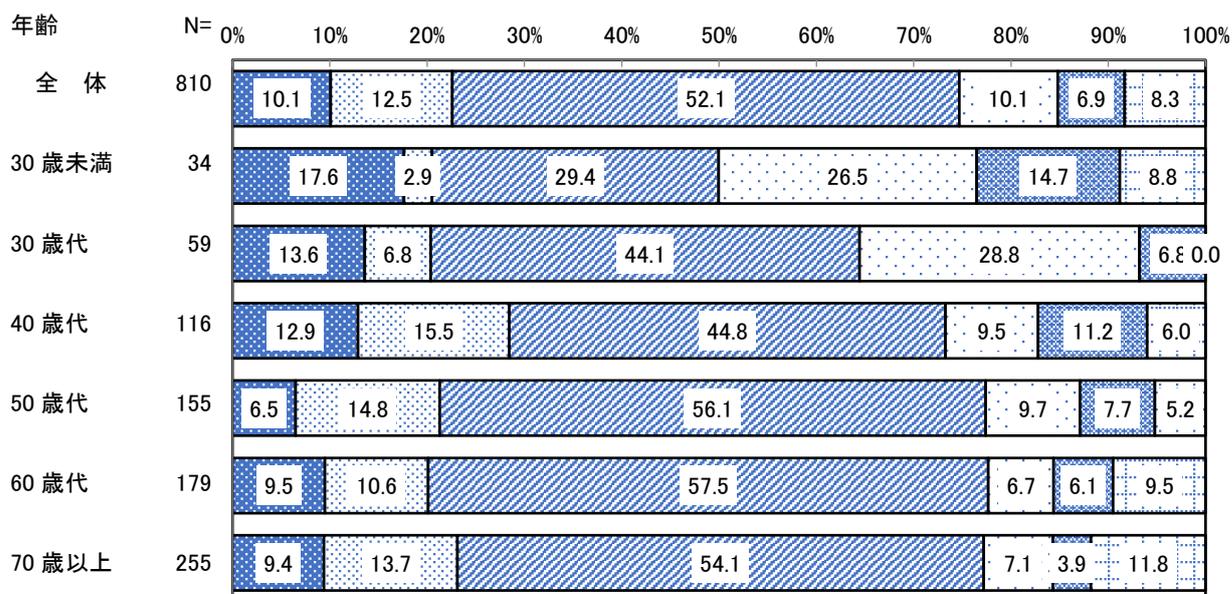
- 自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。
- 悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。
- ▨ 悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。
- 一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。
- その他
- 無回答



【クロス集計 F-07×年齢】

		全 体	自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。	悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。	悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。	一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。	その他	無回答
全 体		810 100.0	82 10.1	101 12.5	422 52.1	82 10.1	56 6.9	67 8.3
年 齢	30 歳未満	34 100.0	6 17.6	1 2.9	10 29.4	9 26.5	5 14.7	3 8.8
	30 歳代	59 100.0	8 13.6	4 6.8	26 44.1	17 28.8	4 6.8	0 0.0
	40 歳代	116 100.0	15 12.9	18 15.5	52 44.8	11 9.5	13 11.2	7 6.0
	50 歳代	155 100.0	10 6.5	23 14.8	87 56.1	15 9.7	12 7.7	8 5.2
	60 歳代	179 100.0	17 9.5	19 10.6	103 57.5	12 6.7	11 6.1	17 9.5
	70 歳以上	255 100.0	24 9.4	35 13.7	138 54.1	18 7.1	10 3.9	30 11.8

- 自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。
- 悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。
- 悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。
- 一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。
- その他
- 無回答



【クロス集計 F-07×年齢】

		全 体	自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。	悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。	悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。	一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。	その他	無回答
全 体		810 100.0	82 10.1	101 12.5	422 52.1	82 10.1	56 6.9	67 8.3
家 族 構 成	ひとり暮らし	94 100.0	8 8.5	10 10.6	49 52.1	8 8.5	5 5.3	14 14.9
	夫婦のみ	223 100.0	22 9.9	26 11.7	123 55.2	24 10.8	15 6.7	13 5.8
	親と未婚の子ども	258 100.0	23 8.9	32 12.4	130 50.4	30 11.6	24 9.3	19 7.4
	親と子ども夫婦	44 100.0	4 9.1	6 13.6	24 54.5	3 6.8	4 9.1	3 6.8
	親と子どもと孫	55 100.0	6 10.9	10 18.2	27 49.1	4 7.3	2 3.6	6 10.9
	その他	114 100.0	16 14.0	14 12.3	57 50.0	12 10.5	5 4.4	10 8.8

- 自殺の危険性を示すサインを発している人に気付ける人を育成する。
- 悩んでいる人の相談に乗ることができる人を育成する。
- ▨ 悩んでいる人が気軽に相談できる窓口を充実させる。
- ▩ 一人一人が様々な困難やストレスに対して、適切なSOSが出せる能力を身につける。
- その他
- 無回答

